

## 「野球しようぜ」大谷選手からグローブ届く

ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈したグローブが町内3校にも届きました。「野球しようぜ」のメッセージとともに、大きさの違う右投げ用2個、左投げ用1個の計3つのグローブです。

子どもたちは目を輝かせ、早速グローブを手にキャッチボールを楽しみました。各小学校では、クラスごとに順番に回すなど全学年の児童が手にできるようにします。



▲▶全校児童を前にグローブの使い方を実演した福島小体育委員



届いたグローブを喜ぶ小幡小児童



キャッチボールする新屋小6年生

## 「袁」児が適切な利用をよびかけ「110番の日」

富岡警察署と甘楽町地区駐在所連絡協議会連合会(吉田茂雄会長)は1月11日、めぶきの森かんら(矢野勲仁園長)で「110番の日」の広報活動を実施しました。

紙芝居や保育士による110番通報の体験を見て交通安全について学んだ後、代表園児7人が園の前の町道を通るドライバーに花やチラシを配り「110番の日」をアピールしました。

吉田会長は「今日をきっかけに多くの人に110番の適切な利用方法について知ってほしいと思います。今後も地域の安全安心を守る活動をしていきます」と話されました。



①



②



③

- ①ドライバーに「110番の日」を啓発する園児
- ②職員による「ひき逃げ」「不審者」を想定した通報体験
- ③かんらちゃんが県警マスコット「上州くん」「みやまちゃん」と登場

# 県選抜チームで全国大会出場 甘楽中生

甘楽中学校女子ハンドボール部から8人、女子バレーボール部から1人が群馬県選抜メンバーに選出されました。

ハンドボール選抜は12月24～27日に徳島県で開かれた第32回U-15ジュニアセレクトカップに出場しました。チームは最後まで全力でプレーしましたが、惜しくも決勝トーナメント進出は逃しました。

バレーボール選抜は12月25～28日に大阪府で開かれたJOCジュニアオリンピックカップに出場しました。予選リーグ敗退となりましたが、粘り強いプレーが随所に見られました。



【ハンドボール】後列左から 永井瑠華さん、高橋葉月さん、青木桜月さん、高橋陽和さん(ともに2年)  
前列左から 町田 優さん、松井結愛さん、古舘りおなさん(ともに3年)、酒井心優さん(2年)

【バレーボール】中重麗奈さん(3年)

# 獅子舞の魅力伝える

(公財)群馬県教育文化事業団主催の「獅子舞ワークショップ」が1月21日、町文化会館で開催され、県内の小学生とその保護者約20人が参加しました。

「諏訪神社天引獅子神楽保存会」の皆さんが講師となり獅子舞の解説が行われた後、参加者は自分で作った段ボールの獅子頭をかぶり、同会指導のもと舞いを練習しました。

中島那由多さん(新屋小・4年)は「足を跳ね上げながら太鼓を叩くのが難しかったけれど、楽しかったです」と笑顔を見せました。保存会の萩原匡彦さん(天引)は「参加者の楽しかったという言葉が一番。熱心に舞いの練習する姿があったので、次世代の伝統芸能の担い手につながればうれしいですね」と話しました。



獅子舞の実演



笛の音とともに舞う参加者

# 無病息災を願う どんど焼き

新春恒例行事の「どんど焼き」が各地区で行われました。

持ち寄っただるまやお札を燃やし、繭玉を焼いて、無病息災、家内安全、五穀豊穡を祈りました。



21区



25区



27区

# 子どもたちに音楽を

町地域魅力化特命室はプロの演奏家を招き「ヴァイオリンとピアノによるクラシックライブ」と題した演奏会を1月18日、かんら保育園とめびきの森かんの園児を対象に開催しました。本物の音楽に触れる機会は、子どもの心の健康を育て大きな財産になると企画されたものです。

演奏が始まると音の振動を体で感じ体を揺らしリズムに乗る子、真剣に聞き入り「すごい！」と感激を口にする子もいました。園で歌っている曲が始まると園児たちは演奏に合わせて大きな声で歌いました。



リズムカルな曲に手拍子で参加する園児(かんら保育園)

# 児童の健全育成に貢献 三浦さん

令和5年度社会福祉事業等従事者に対する県知事表彰において三浦秀子さん(福島)が表彰されました。

15年にわたり学童保育や障害者施設で児童の保育・指導に尽力された功績が認められたもので、令和3年4月からは小幡学童保育所の支援員として従事し、現在は同所副所長として活躍されています。

三浦さんは「大人では気付かない子どもならではの発見や発想を間近で見ることができ、それが仕事のやりがいとなり長年務めてこられました」と受賞の喜びを語られました。



# 読売大会で初優勝!! 群馬ジュニアハンドボールクラブ

第37回読売杯争奪ちびっ子ハンドボール大会が12月28~30日に茨城県つくばみらい市などで開かれ、男女混合低学年(4年生以下)の部で群馬ジュニアハンドボールクラブ(齋藤英邦監督・茂木敏裕コーチ)が優勝しました。

同大会の優秀選手に選ばれた森田遥翔さん(小幡小4年)は「一人一人が練習の成果を発揮し、チーム一丸となって優勝を勝ち取ることができました。支えてくれた皆さんへの感謝を忘れず、2月の新人戦も優勝を目指してがんばります」と力強く話しました。



# サッカーの魅力を感じ

Jリーグ・ザスパクサツ群馬から2人のコーチを招いたサッカー教室が1月16日、新屋小学校体育館で3~6年生を対象に開催されました。

学年ごとの発達段階に応じたプログラムとなり、6年生は目標物の三角コーンにボールを当てると得点が加算されるゲームをグループ対抗で競うなど大いに盛り上がりました。

児童からは「ゲーム感覚で体を動かせ楽しかった」「サッカーをやりたい」との声が聞かれました。



高得点を狙って目標物に向かいボールを蹴る児童